

平成 26 年度 第 2 回仙台市景観総合審議会 専門部会 議事録

日 時 平成 26 年 5 月 13 日 (火) 午前 10:00~12:00

会 場 仙台市役所本庁舎 2 階 第 1 委員会室

出席委員 武山 良三委員、相澤 義博専門委員、阿部 昌孝専門委員、
石井 光二専門委員、高橋 貴美江専門委員、並木 直子専門
委員、増田 聡専門委員、脇坂 隆一専門委員

欠席委員 北村 治専門委員、高橋 剛彦専門委員

関係者 三浦 理 (宮城県経済商工観光部観光課)

仙 台 市 村上次長兼計画部長

事 務 局 都市整備局計画部都市景観課

1. 開会	
事務局	<p>只今より、平成 26 年度仙台市景観総合審議会専門部会を開会いたします。私は、本日司会役を務めます都市景観課の早川でございます。よろしくお願いたします。議事に先立ちまして、本日皆様のお手元にご用意いたしましたボトルウォーターについて簡単にご紹介させていただきます。このボトルウォーターは仙台市水道局が水道水を使って作製したものです。災害に備えた自助の取り組みとして、ご家庭での水の備蓄を行っていただくことをお願いたしますとともに、仙台市の水道水のおいしさを改めて実感していただき、また、ラベルにありますような「きらり」と光る仙台の魅力を再発見していただければ幸いです。</p> <p>それでは、開会にあたりまして、都市整備局次長兼計画部長の村上よりご挨拶申し上げます。</p>
2. 次長挨拶	
村上次長	<p>みなさん、おはようございます。本日は大変お忙しい中、当部会の方にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。震災から 4 年目となりまして、楽天の優勝パレード、羽生選手のオリンピックからの凱旋パレード、この間の日曜日は仙台国際ハーフマラソン、そして、また今度の土曜日、日曜日には仙台三大祭の 1 つであります、仙台青葉祭が</p>

	<p>行われます。新緑の一番美しい、仙台の街並みが一番美しく見えるこの時期に仙台青葉祭が開かれるわけですが、昨年も90万人を超える人出がございました。実際土曜日が宵祭ということで、土曜日の出は少なく、本祭の日曜日は60万人ほどということで、一番歴史のある仙台七夕祭のピーク時で大体その位の人数なので、かなり多くの人に来ていただいて、まさに街の賑わい、活気が感じられ、まさに復興への着実な歩みというものを感じられるような今日この頃と思っております。</p> <p>青葉祭の中で、ちょっとお時間をいただいてPRさせていただきますと、青葉通カフェというのを、東二番丁と青葉通の北西の角でございますけれども、ファーストタワーのアトリウムのところ、青葉通まちづくり協議会という地元の方々を中心としたところで、昨年に続いてオープンカフェをやっていただくと。青葉通は定禅寺通と並んで、仙台の有名な通りでございます、そういった中で、ますます街の賑わいですとか、元気といたしますか、そういったものを地域の方々の中で、引きだしていくようなそういった取組みを進めていただいております、青葉祭の時期にやるということでございますので、もし青葉祭においでの際は、ちらっと顔を出していただければ、我々としても大変ありがたいなというふうに思っております。そして、こういった多くの来訪者の方々が、これから夏秋冬と立て続けにお祭等があつて、いらっしゃるわけでございますけれども、杜の都仙台の美しい街並みを楽しんでいただきますとともに、本日こうやって専門部会の皆様のお力で、色々なご意見、ご議論を重ねた中で、来訪者にとってもわかりやすいサイン、その整備に是非努めてまいりたいと思います。限られた時間の中ではございますが、色々な忌憚のないご意見をいただければ、幸いと感じます。開会にあたりまして、簡単ではございますが、私からの挨拶とさせていただきます。よろしく願いいたします。</p>
事務局	続きまして、武山部会長よりご挨拶をお願いいたします。
3. 部会長挨拶	
武山部会長	<p>皆さんおはようございます。今しがた青葉祭のお話がありましたけど、そういうお祭りが盛り上がっていくというのは、ひとつ都市の地域力といたしますか、総合力が問われるんじゃないかなという風に思います。本日サイン計画の素案が出来てきておりますけれども、それを拝見しましても、かなり総合性みたいな部分が散見されるかなと思います。そもそもサイン計画をトータルにやっということを発想し、具体化するということも総合力の質の現れじゃないかなと思います。今朝、庁舎に参りましてロビーに東西線のディスプレイがされておまして、</p>

	<p>非常に魅力的な展示だなと思って、大体役所の展示はろくな展示じゃないんですけど、なかなか魅力的に分かりやすく展示されている。それを牽引してた1つのプロジェクトなんですかね、こういうポスターをやっておりました（現物を提示）。見ててなかなかセンスいいなと見てたんですけど「W、ウエストか～Eがイースト…それでWEね。」本当に単純なシンプルな着眼点かと思えますけども、WEプロジェクトと銘打って市民の皆さん、皆でいろんな活用を考えましようということを示されている。これ非常に素晴らしい取り組みじゃないかなと思います。併せて置いてありましたこういう地図、これも審議会の方でも少し紹介されたこともありますけども、近隣の魅力みたいなものを地元の大学なんかも協力してやっていく。これらは素晴らしい取り組みかと思えます。まさにその地域力的一端が出てきているのではないかなという風に思えます。それをこのサイン計画としてもバックアップしていくという形で進められたらと思いますので、本日もご検討のほどよろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。本日の専門部会は、10名中、8名の委員がご出席でございます。過半数の出席ですので、会議は成立しております。なお本日、関係者として、宮城県経済商工観光部より三浦 理（みかく）さまがご出席です。本日は、これまでの部会での審議等をふまえて、原案を作成いたしましたので、ご説明いたします。</p> <p>本日の審議をふまえて、最終的にパブリックコメントを実施する素案を作成し、5月27日の「第1回景観総合審議会」でご報告する予定です。それでは、本日の議事に移りたいと思います。以降の進行につきましては、議長の武山部会長にお願いいたします。</p>
武山部会長	<p>それでは議事録の署名委員につきましては、私と、出席委員の中から名簿順に、阿部委員にお願いいたします。</p> <p>それでは、本日の議題の「歩行者系案内誘導サイン等基本方針素案の検討について」、事務局より説明願います。</p>
4. 議事「歩行者系案内誘導サイン等基本方針(素案)について」	
事務局	<p>それでは、歩行者系案内誘導サイン等基本方針の素案について ご説明いたします。これからのご説明につきましては、前回のご説明と重なる部分もございますが、基本方針の構成としてもう一度ご説明いたします。今回の検討の取り組みの、全体像につきましては、平成12年度に策定しました「仙台市歩行者系サインガイドライン」について見直しを行い、修正や情報の追加に加え、利用のしやすさの向上などを検討し、新たに基本方針を策定いたします。前回まで基本方針とサイン見本帳をあわせたものを「ガイドブック」としていましたが、位置づけが分かりに</p>

くくなることから、仙台市域全体に係る歩行者系案内誘導サインの整備に係るコンセプトと共通基準からなる基本方針、そして、参考としての歩行者系案内誘導サインのデザインの提案を見本帳として1つの冊子とし掲載することにより、これまで各担当部局ごとにばらばらだったデザインについても統一を図っていきたいと考えております。仙台市内の歩行者系案内誘導サインの現状を分析して見えてきた3つの課題を踏まえました、「1情報の連続性」情報の拠点と必要な情報の考え方を示し、これまでの案内サインに加え、通り地図・矢羽根型サイン等を設置します。「2情報の伝達性」地図の表現をよりわかりやすく改善します。「3良好な景観形成」サインの整理・集約化を図ります。以上3点を視点として基本方針の内容を検討いたしました。

本基本方針の構成は、「A歩行者系案内誘導サイン等の目的・役割」「Bサインの設置方法」「C景観との調和」「D外国語の使い方」「E障がい者への対応」「Fその他」ここまでが、一般的なサインの考え方となります。「G歩行者系案内誘導サインのシステムと配置基本計画」「H歩行者系案内誘導サインの表示基準」ここまでが、歩行者系案内誘導サイン等の基本的な考え方となります。以上のような構成（案）になります。こちらの構成は、お手元の基本方針と同じになっております。ではこれから、Aから順番にご説明いたしますが、構成が分かりにくいなどございましたら、後ほど、ご意見を頂きたいと思っております。

それでは、「A歩行者系案内誘導サイン等の目的・役割」についてご説明いたします。主に仙台市へ訪れる人にとってわかり易く、また、目的地への円滑な移動を誘導するために、歩行者系案内誘導サイン等のコンセプトを統一し、配置や表示内容をルール化し、情報の整理・集約化を行うため、基本方針を策定することといたしました。本基本方針は、仙台市の各部局が歩行者系案内誘導サイン等を整備する際の基準とし、都市景観課において整理集約化・デザインの調整・相互の連携などを調整いたします。また、民間事業者等へは、協力を働きかけます。「Bサインの設置方法について」です。サインの存在が一見してわかる場所で、通行の支障にならない場所に設置いたします。また、健常者・車いす利用者両方を考慮した高さに設置いたします。「C景観との調和」です。できるかぎりサインを整理集約化し、良好な景観形成の向上を図ります。「D外国語の使い方」です。外国語表記の基準につきましては、県庁・市役所などの官公庁などの主要行政施設や鉄道駅やバスターミナルなどの交通結節点、文化施設、観光施設は日本語、英語、中国語簡体、韓国語の4か国語とします。主要な観光施設等は中国語の繁体も併記し

ます。こちらは、部会からの意見を整理した上で考え方を盛り込みました。一般施設は、日本語、英語の2か国語とします。なお、パンフレットなどの他の媒体との連携をはかり、多言語表記に対応します。「E 障害者への対応」です。視覚障害者につきましては、弱視者・全盲者・色覚障害者への対応を考慮します。車いす利用者につきましては、設置場所や設置情報の対応を考慮します。「F その他」です。維持管理方法や、今後の課題になります。「G 歩行者系案内誘導サインのシステム」に関してご説明いたします。まず、人の行動の起点・分岐点となる「拠点」を階層化します。拠点は、行動の起点となる「交通拠点」と、行動の確認を行う「歩行拠点」に分けられ、それぞれの拠点間、階層間での移動が生じます。仙台市域の全体について拠点の概念をご説明いたしますと、飛行機、電車等、様々な交通手段により仙台にお越しの方々は、仙台駅や主要地下鉄駅・バス停などを経由し、最終的には徒歩で目的地へ至ります。その際、拠点間で誘導の情報が途切れることなく確実に伝わっていく必要があります。ここまでご説明したサインシステムの考え方により、市中心部における各拠点を分析し、配置計画を落とし込んだものが、今お示ししている図です。仙台駅から国際センターまでの例をあげますと、仙台駅の交通大拠点、ペDESTリアンデッキ、青葉通・東二番丁交差点の歩行拠点中、青葉通・国分町通交差点の歩行拠点小、目的地、それぞれの拠点等におけるサインの種類および表示情報を整理いたしました。「H 歩行者系案内誘導サインの表示基準」についてです。各拠点に必要な情報に応じた地図やサインを設置します。より見やすい地図の色彩といたします。こちらは、専門部会でいただきました、仙台市の都市構造の把握や市内のランドマーク的な建物等について、市内の主要な施設を施設アイコンにより表示や概念図による位置の把握のしやすさを考慮いたしました。

今後のスケジュールにつきましては、5月27日の景観総合審議会において基本方針素案のご意見を伺い、6月1日から30日までパブリックコメントを実施し、8月8日の景観総合審議会においてパブリックコメントの意見を反映した基本方針案についてご意見を伺い、ご了承いただければ、8月に中旬基本方針策定となります。

次に、国連防災世界会議に向けたサイン等の整備についてご説明いたします。今までの専門部会での意見を参考に国連防災世界会議のサイン整備の検討を進めております。現時点での検討内容をご報告いたします。図の赤い網掛け部分が予定対象エリアになっております。主に、仙台駅周辺、青葉通、定禅寺通、東二番丁通、国際センター周辺、アーケ

	<p>ード等において、既存サインの更新・新設、仮設フラッグ・バナー等の整備を行う予定です。図は、サイン更新に係る道路上サイン・観光サイン等のイメージ図です。次の頁は、通り地図や矢羽根型サインや仮設フラッグのイメージ図です。図は、サインと連携した取り組みのおもてなしサインの店頭表示イメージ図です。</p> <p>今後のスケジュールにつきましては、国連防災世界会議に向けたサイン整備として10月中旬から、サイン整備となります。今後必要となるサイン整備として、地下鉄東西線開業や仙台駅再整備に向けて、関係部署・交通機関との調整協議を12月頃まで実施し、順次整備いたします。泉中央地区・あすと長町地区につきましても、現況調査・課題の整理を10月頃まで、配置計画案の作成を2月頃まで行い、順次整備いたします。以上で、事務局からの説明を終わります。</p>
武山部会長	この参考資料の説明はよいですか。
事務局	今ご説明したのがこちらの主要部分の中身になります。こちらは参考資料として本日お配りしておりますので、これも踏まえて議論いただければと思います。
武山部会長	<p>前回のご説明のあったところから、議論の内容を踏まえてアップデートした内容が説明されているんじゃないかなと思います。まず都市構造について概念化しましょう、そういうルールを作っていきましょう。地図上に簡略化した概念図を作りましょう。それから施設アイコンの話も出ていたかと思います。それから多言語表記につきましては日・英・ピクトを基本としながら中国語簡体字・韓国語、必要に応じて繁体字の方も扱うというような話があったかと思います。それからJR・地下鉄・バス等の連携強化についてはワーキングの方で継続的に検討を行っていただくということ。市役所の中で組織的に横断的体制というか検討をやってもらったかということです。それで両方いっぺんにというのも難しいと思いますのでとりあえず今説明がありました骨子の方につきまして何かご質問ご意見等ございましたら話したいと思いますがいかがでしょうか。</p>
増田専門委員	<p>一番最初が、資料の順番でいいますと6ページの民間事業者等との協力・連携という項目があります。その上の役所の中ではルールを決めれば多分適応できると思うんですけど、民間との関係というのはどういう風に、ルール化まではできないかもしれませんが、どういう方向で進んでいくのがまず第一点です。</p> <p>次に9ページの外国語表記のところですが、素案によると道路名称が全て「なんとかアベニュー」に統一すると書かれてるんですけど、記憶</p>

	<p>が定かではありませんが、「定禅寺通ストリートなんか」という呼称の方が一般的になったりしているような言い方もあるときにアベニューに統一するかどうかという細かい点です。</p> <p>あと次の11ページのところに紫からオレンジ、濃い緑から青までこの色が使われているんですけど、これはルールとしてこういう色使いと実際のサインとの関係がちょっとよく見えません。行動の起点には紫色のサインを置くのか、それとも紫は単なるこのサイン計画の中だけの色使いなのかちょっとよく分からないところがありました。</p> <p>あと17ページの施設アイコンですが、おそらく仙台をあまりご存知でない方は、この図を見てなんとなく分かるのは仙台城跡とJR仙台駅ぐらいはその場所だろうというのは分かるかと思うんですけど、国際センターとかメディアテークとか少しこりすぎていて、そこに行ったことがないという建物ではなかなか分からないんじゃないかなと思います。もしこういう標記をするのならば、なんかもう少しシンボリックなアイコンにしてしまうということも。国際センターに何があるかよく分からないんですけども国際センターそれ自身のロゴもあったりするのかもしれませんが、グローバルな地球のイメージとかメディアテークの方は図書館のようなイメージとかですね、なんかそういう方が知らない人には分かりやすいのかという気も少ししました。少しまたご検討いただければと。以上雑駁ですいません。</p>
武山部会長	<p>色々と質疑があるかと思うので、まとめて出して貰ってもいいですかね。重複する質問もあるかもしれませんが、今のように細かい点も含めてご質問等をまずさせていただきます。</p>
都市景観課長	<p>増田委員からいただいたご質問については個別に答えさせていただきますと思いますけども。</p>
武山部会長	<p>あとで順番に、あんまり個別にやってると訳分からない状態になるかもしれないのでとりあえず、ざーっと今気付いてるところは出していただいて、前のページから順番に追っかけて行きたいと思いますので。まず疑問点出していただけますか。</p>
石井専門委員	<p>中心部商店街の方の今色々な話題の中で、先週ですか、商店街の理事長の三栄会という中で国連防災会議に向けて、どんな風になるんだという話があったんですよ。基本的には今いろんな審議会やってるんですけども、この後半の部分、20ページから国連防災会議に向けたサイン等の整備、ここは基本的にはこのエリアはやるのかは、どうかというのが1つですね。</p> <p>あともう1つは24ページでサインと連携した取組みで、個店です</p>

	<p>ね。それぞれのお店にこのような表示という風なことなんですけども、この辺は例えば提供してもらえるのかと、つまり各お店が準備するのではなく、シール状のものを市の方から提供してもらえるのか、その2点ですね。そこを教えてほしいと思いました。</p>
高橋(貴)専門委員	<p>21ページのサイン整備対象エリアということで、国連防災世界会議に向けた整備、ここで見ると赤く網掛けになっているところが、青葉通・定禅寺通、その他に中央通、商店街が入ってることで東一番丁通は入らないのかなという。同じ商店街で二番丁までが対象エリアということ。二番丁と一番丁、失礼しました。一番丁が入っていないと思った私の勘違いですね。それから、24ページですが石井委員の発言とちょっとかぶるところがありますけれども、この英語が使えますということはいいいですけど、その次韓国語が使えます・中国語が使えます、スペイン語が使えますという標記が英語だけになるのでしょうか。日本語と英語だけではなく、その言語表示があった方がよろしいのではと思います。</p>
武山部会長	<p>そうですね。22ページのとこの観光サイン等で色が変わっているというのが、これは観光用は青にするということなのかということ。</p> <p>22ページの観光サインは、そもそも大体これ観光サインじゃないのっていうことで。どこをどう観光サインと。</p>
都市景観課長	<p>22ページですけども観光サインにつきましては歩行者系の案内誘導サインとは違いまして、特に今回表示しておりますのは仙台城跡周辺の観光サインということで、想定しているものを今回の例として挙げさせていただいております。こちらにつきましては茄子紺色をベースにした形で基本的には進めていきたいという風に考えてたところでございます。</p>
武山部会長	<p>色については先程増田委員の方からご質問もありましたんで、その辺も含めてご意見をもらいたいと思いますが、他いかがでしょうか。</p>
相澤専門委員	<p>少し細かいんですけど、17ページの手がかりランドマークが赤で、色の問題なんですけど、仙台市博物館とか国際センターとかがちょっと濃い緑なんですけど、濃い緑の方が若干色使いとしては見にくいかなという気がしました。色使いの問題なんですけど、せっきく置くなら分かりやすい、目につきやすい色の方がいいのかな。下地が薄いオレンジにしたので色の対比としてはちょっと見にくいかなという気がしました。</p>
武山部会長	<p>私の方からも、最初の2ページのところで基本方針とサイン見本帳とありまして、これ1冊にまとめるんですよ。</p>
都市景観課長	<p>基本方針とそれから参考資料としてサイン見本帳を1冊の資料とし</p>

	てまとめていきたいと思います。
武山部会長	<p>それから順番にさっきの質問も含めて、前から順番に行きたいと思いますが、その時にその基本方針と見本帳が明確に分かった方がいいのかどうなのか、なんかちょっと気になって仕方ないんですけど。先程から色の話も出てますけど、なんか表紙の色みたいなものがついてて、基本方針は例えば緑で「グリーンブック」と呼ばれてるとか、見本帳の方は黄色で「イエローブック」と呼ばれているとか、「イエローブック取ってよ」という形で、ぱっと分かるような形もありえるのかなと思ったのが1つ。それから見本帳関係はコピーされることが非常に多いので、マニュアル系の本はリングファイルとかコピーしやすい製本が求められたりするのかなと思うので、そういったことも含めてどういう構成にするのか、2冊にしといて、それこそ透明の箱にポンと入れるとかというのがあるかと思いますが、なんかちょっと工夫が必要かなというのが1つ感じております。</p>
都市景観課長	<p>現在、最終的な製本といいますか取りまとめの形としては、基本方針と参考の見本帳、1つに取りまとめるということなんですが、冊子というよりは、全体をリングファイルで取りまとめて、例えば特に見本帳の場合は色んなデザインを追加で当然足していくってということもありますので、それも含めて加除式、追加式で考えておりました。</p>
武山部会長	<p>見本帳の方は、特にそれが出てくる可能性がある。次めぐりまして、4のところでも目的からずっと基本構成の流れがあるんですけど、評価とかチェックとか、そういった部分の要素では、例えばその他のあたりに入っても良いのかなという風に思いました。要するに目的があってその目的がしっかりと達成されているかどうかということを確認していくんだというところで、何かそういう手だてが必要になってくるんじゃないかと思います。チェックシートっていうのは結構有効に使えるので、例えば年1回、市内を回ってチェックしてみると、そうするとこういった点が、目的とされたところといった点が確保されていなかったというのが明らかになりますよね。そういうようなことができる枠組みを作る。そのチェックシートは評価になりますけど、評価から逆算して、どういうことをやっていかなければならないか。こういうことが維持されなければ駄目だねということから逆算して、取組みの微調整が分かるという部分もある。そういうこともご検討いただいとしたいと思います。6ページ目は先程ご質問ありました、民間事業者との協力・連携、これはどんな風にお考えですか。</p>
都市景観課長	<p>先程も増田委員の方からお話しがありましたが、確かに民間の方へ仙</p>

	<p>台市がこういう方針で内容を定めたとしても、これをその通り遵守してもらおうという言い方はおかしいかもしれません。それはさすがに難しいと考えてまして、出来るだけ我々としてはこの基本方針に基づいて連続性かつ一体性があるような誘導サインをしていただくのが望ましいという風には考えております。</p> <p>そういう意味では実際にこういう形でやるものについて各事業所さんに周知を図ると同時に、一番重要な場所といたしますのは、外から来られた方が一番最初に起点として立つ場所であるJR仙台駅だと考えております。JR仙台駅周辺を含めた一体の誘導サインが非常に重要と考えており、そこにつきましては、昨年度からワーキングということでJRさんと、それから仙台市の道路関係、それから交通関係の部局が入りまして、具体的にどういう形で整備をされるかどうか含めましてこれは検討の方を始めさせていただいてるところでございます。周知も当然必要ですがそういう具体的な連携を取組みながら、より基本方針の中身を具体化していければという風に我々は考えているところでございます。</p>
武山部会長	増田先生どうですか。
増田専門委員	これから検討ということであれば、何かこういう風に進めていく基本方針みたいのが他にあった方がいいかなという風に思います。
武山部会長	<p>これ民間事業者等がありますけど、交通事業者さんみたいなところと、一般の店舗であったり随分違うかなと思うんですね。それから観光事業者さんなんかホテルとかそういう系統の方とか具体的に何を連携するのかということがいまひとつ見えてこないの、どういうことを要請するのかあるいは民間の方はなんか看板出そうとしたときに、例えばこういうことに配慮しなきゃいけないんだねということが分かるような項目出しからでも始めたらどうかなと思います。そういうものがないと、その全体の基本方針を作るのにもあまりにも漠としてしまって、よく見えてこないと思います。それと対応して仙台市の庁内の各部局との関係というのが出ておりますが、こちらの方も具体的にそういう項目出してみたいなものがされていかれたらどうかなと思います。何を協力したらいいのかという話になろうかと思えます。次のページ7ですね、サインの設置方法、整備集約、これはいいかなと思います。それから9番の外国語の扱い方については、標記方法としては場所に応じて組み合わせを変えるということが、前回のところからの訂正点となりますが、具体的な標記方法、通り名等をどうするのか、この辺は何かお考えがありますでしょうか。</p>
都市景観課長	先程定禅寺通の件もございまして、定禅寺はストリートと呼ばれたり

	<p>することもございますが、今回の誘導標識に関しましては、基本的には街路系、道路につきましてはアベニューで統一して表示していこうかと考えておりました。</p>
武山部会長	<p>それは今もアベニューということ。</p>
都市景観課長	<p>現在の標記もいわゆる定禅寺通等も、アベニューで表示しておりますので、そういう意味では今までと変更なしなんですけど、それで統一していきたいという風に考えておりました。</p>
武山部会長	<p>通り名はほとんど大通りだけを標記するという考え方でよろしいですかね。</p>
都市景観課長	<p>必ずしも大通りだけとは、例えば国分町通も当然出てきますので、国分町通を大通りかと言われるとちょっと微妙なところですので、二番丁とか青葉通とか広瀬通とかそういう幹線道路だけではなく、比較的歩行者の方が通る場所についても標記、アーケード街もそうですがそういうところも含めて表示していきたいと考えておりました。</p>
武山部会長	<p>道路規模との関係といたしますか、大通り、それから普通の通り、アーケードみたいところで少し標記が変わるという可能性はあるのかなと思いますけど、国分町通でアベニューって言ったら、なんか似合いませんよね。外国人にじっくりくるかなとは思いますが。</p>
都市景観課長	<p>その辺は少し検討させていただきたいと思います。</p>
武山部会長	<p>外国語関係はよろしいですか。障がい者への対応、次のところいまして、11ページではこの色がこの図面上のものだけなのか、具体的なサインとしても機能するのにかにつきましていかがでしょうか。</p>
都市景観課長	<p>こちらの11ページの各拠点の色彩ですが、こちらの方はそれぞれの拠点の違いを表示の中で描いたものでして、具体のサインにこの表示を何かつけるものではございません。サインについては特に基本はその枠は緑系で、図であったりいわゆる名称、矢印であったりというのを設けるような形で考えております。</p>
武山部会長	<p>先程から出ている案内の図であったり地であったりの色の基本的な考え方というのは、これは素案の方、見たら書いてあるんですか。H4のところですかね。</p>
都市景観課長	<p>基本方針の素案の方では色彩の表示はH4に地図の表現ということでH4のなかの05の方の色彩ですね。05の色彩の頭のところにある地面の色であったり、建物の色であったり、河川・公園とかの地の色、地図の色だったり、それから表示する店舗だったり道路だったり、それから文字の色彩、次のページにはピクトグラム色彩であったり、この辺の色彩の方は現在この形でいきたいと考えているところがございます。</p>

	す。
武山部会長	先程のご質問にもありましたピクトグラムの色もH4のページに出 ておりますが、手がかりランドマークが特に目立たすと。
都市景観課長	そうですね。確かに現在の色が緑色ではあるのですが、下地に公園な どの緑、それから公園でなくても地の色がベージュ系の色で少しこの色 は、現在目立たない状況にあり、先程ご意見もありましたので、色につ いては検討させていただけたらと考えておりました。
武山部会長	ここは非常に難しいところで、まず現在地というのが一番目立たせた いということで反対色の赤色みたいなものがあつたとして、あとは何か 所もそういう赤が出てくると逆に分からなくなってしまうのもあります 。この辺のバランスをよくご検討いただけたらと思います。相澤委員 いかがですか。そんな感じでよろしいですか。それで色のことにつま まして地図の色彩とか出ておりますが、この器具の色っていうのはどっか に出ているんですか。サインの本体の緑色。
都市景観課長	直接は今のところ色の表示は方針の方には入っておりませんので、見 本帳の方にIの1番以降ですが。見本帳ではそれぞれ表示といえますか 色彩の方を書いているような状況でございます。
武山部会長	Hは基本方針の方ですよ。基本方針のところに結構細かく地図の色 とか入ってるんですけど、これ逆にむしろサンプルの方でもよいのかな と思います。ここもちろん基本方針の方に入ってもいいんですけど、 そうした時に、全体の色彩計画のサイン総合の中でこの本体の中で かなり大きな位置づけを占めると思います。それプラス、先程観光つ いていう風におっしゃってましたけど、使い分けをするのであれば、まずこ こで基本方針のところで、そういうコードを作っておくべきと思いま す。
都市景観課長	枠についてもそういう意味で基本、現在の設置されているものをベー スに考えておりますので、その辺見本帳ではなくて方針の方に入れる方 向で考えていきたいと思えます。
武山部会長	スライドの方に戻りますが、今11、12、13ページをやりました。 それからサインシステムのところはいいですね。15ページにいきます と、歩行者系のサインの表示基準というのが出て参ります。通り地図と いうのを作りましょう。それから地図の色彩変更ということでベースを 明るい色にして文字を濃い目の色にするというような方針がこの前出 されていたと思えます。そしてアイコンの話ですが、ご指摘がありまし たように建物の外形というのはなかなか一般の方には分かりにくいん ではないかというところから国際センターをイメージさせやすいよう

	な地球儀であったり、あるいは仙台メディアテークの場合はなかなか難しいんですけど。
都市景観課長	今回メディアテークは建物を少し図案化して、手がかりランドマークということで作成してみたのです。確かに外から来られる方は建物を見てない方もおられますので、これを見ても分かりにくいっていうのはおっしゃる通りかもしれません。例えばメディアテークの場合、ロゴマークっていうかマークがありますのでそういうのも使うのも1つ、ご意見もありましたけども方法かなという風に考えております。これは国際センターも含めまして少しどのようなデザインがいいのか、再度検討していきたいと思います。
武山部会長	そういうのも先程民間事業者等の連携というところで、周知されているマーク等があれば提出することとか、そういうような関係があり得るかもしれません。
増田専門委員	今のところで確認なんですけど、JRのマークもあって地下鉄のマークもあると思うんですが、南北線と東西線で標記が変わるんですか。一緒なんですか。まだ見えてないんでよく分からないんですけど。
都市景観課長	いわゆるランドマークといいますかロゴマークとかは変えない形で、色で変えようという風に。この図ですとちょっと見にくいんですが、南北線が水色ですね。
武山部会長	南北線がオレンジじゃないんですか。H4のところに記載されてますけど。
都市景観課長	図の標記が間違っておりました。こちらの基本方針の方を見ていただければと思うんですが、色彩の方のH4の、色彩の地下鉄路線で南北線の方が水色標記で東西線の方がオレンジというか肌色に近いものです。
増田専門委員	そうするといずれ今ある南北線の標記もこのように段々変わっていくという機会となるということでしょうか。
都市景観課長	そうですね。南北線も東西線の整備に合わせてやることで考えております。
脇坂専門委員	すいません。今の話は東京でも大阪でも札幌でも地下鉄というのは、結構何とか線と色というのはセットになっていて、それで地図標記と駅の色と案内と全部セットになっているのを前提に仙台でも二地下鉄が出来るんだから東西線南北線でこういうラインカラーをしっかりと作って駅もそういうふうにして、車両もするのか分かりませんが、そういう風にしてサインを投入するということなのか、それともあくまでもサイン用は区分するだけなのかというようなことかなと思うんですけども。そこは都市景観課さんの仕事に余るところかもしれませんけど

	も。
村上次長	<p>交通局それから南北線も東西線も仙台市の交通局の方で実際にしている訳でしてイメージカラー等があるかと思ひます。一応確認しましてH4に書いてあるのはあくまでも仮ということで、ちょっと今まだ全部の調整は実はまだされていなくてですね。今回はあくまでも基本方針について専門委員の皆さまの方にお話しをしていただく中で、最終的な仕上がりのイメージが掴まないということで今回ちょっとまだ半生状態だったんですが、こういった冊子にさせていただいたところがございますのでその辺に関してはご理解いただければと思ひます。</p>
武山部会長	<p>脇坂委員のご指摘は非常に重要なポイントで、実際に地下鉄で使われているラインカラーと地図上の表記がぴったし一致という訳ではなくてですね、概念の色として青は青、赤は赤とかそういう概念の色として市民の方に定着していくということは、非常に重要なことではないかなと思ひます。そういう観点でH4のところ、結構パステルな色味になってるんですけど、ラインですからそんなに目立たないと思ひますので、もうちょっと色ははっきりとラインカラーについては強調してもいいのかなと。地図上でも割とスッと路線が際立ってくるような色でもよいのかなと思ひます。</p>
増田専門委員	<p>外国人に説明しづらいですね。この色なんていうんですか。「何とか色の駅に行ってください」というのはなかなか。</p>
脇坂専門委員	<p>その関連なんですけど、街路樹の標記も、杜の都仙台を案じるようなラインなんで、これだと弱いという印象を受けます。やっぱり青葉通にしても定禅寺通にしても、この杜の都としての街路樹という並木が仙台の生命線だと思ひます。今見ますとメディアテークの方が目立ってしまったというのは、伊東豊雄さんも街路樹があつて隠れるメディアテークをイメージされたはずなのにメディアテークの方が真っ赤にばーんと目立ってしまうのは、伊東豊雄さんのイメージとも違うんじゃないかと思ひます。やっぱり街路樹っていうのはうまく目立たせるような形での標記をした方がいいと思ひます。</p>
武山部会長	<p>はい、ありがとうございます。都市の地図を見ていて緑を入れたくてもなかなか入れられない地域が多いという中であつて、仙台の場合は緑豊かであるというが、標榜しておられるようですので、ちょっと緑があつたらどンドン緑を入れるくらいの、あー緑豊かな街だねと、地図を見てそういうイメージが伝わるような形も非常に良いと思ひました。17、よろしいですか。18、今後の課題。これは後ほどのところにも出てきますかね。20ページからのところで少し、質問が出てきたかと思</p>

	<p>いますが、21のところ、エリアでやるんですかっていう質問が出てたんじゃなかったんじゃないですかね。</p>
都市景観課長	<p>21ページのサインの整備対象エリアでございますけども、こちらにつきましては国連防災世界会議、来年の3月開催いたしますが、こちらに向けて赤で書かれてる範囲でサインの整備していきたいというように考えています。基本的には仙台駅周辺、それからメイン会場があります国際センター周辺、それと青葉通、定禅寺通、アーケード街と二番丁というところを基本的には整備をしていきたいと思っております。整備につきましては既存のサインの更新、主に張替です。それと今回矢羽根とか通りサインですがそちらの方も新設を想定しております。併わせて二番丁は今のところないんですが、それ以外のところについては仮設でのフラッグとかバナーを今考えているところでございます。定禅寺通も入りますが、定禅寺通は当然サブ会場といたしまして、メディアテークだったり市民会館だったり、それから勾当台公園なども当然活用されるということになってますので、それに向けて設定してございます。</p>
武山部会長	<p>この対象エリアいかがでしょうか。他、検討したほうがどうかというようなご意見ありませんか</p>
増田専門委員	<p>すいませんが、配られている資料の中には定禅寺通の街並み形成ガイドラインと宮城野通のガイドラインはあって青葉通は今後というかたちだったと思うんですけども、東西線の開業に向けて、歩道が拡幅されたり、新しい舗装材が使われたりして、私、通勤路なので歩いてるんですけど、この上位の景観審議会でどういうふうにするのか、決まっているのかどうかよくわからないんですけど、なんでこうなってるのかなというふうに思いつつ、どんどん整備が進んでいるんですけど、それと今回のサイン計画っていうのはうまくペースが合っていけるのかってちょっと確認を。</p>
都市景観課長	<p>今のお話は定禅寺通とか宮城野通についての景観形成と青葉通の景観形成についてはどうなのかということだと思っておりますが、この部会の上位といいますか、もともとの審議会、その審議会が景観計画を平成21年に策定した時に、もともと仙台市の景観の重要な位置づけとしまして、中心部においては、定禅寺通と青葉通と宮城野通、この3つにつきまして景観上も非常に重要なシンボルとなるような場所だということ、景観の取組みをやってくべきだという位置づけが、景観計画の中にもございます。そういう位置づけがございまして、景観計画が21年に策定された後、定禅寺通の景観地区の指定をまず行いまして、その後宮城野通地区につきましても景観地区の指定を行って、実は青葉通について</p>

	<p>はまだ景観地区の指定、いわゆる景観の取組みとして景観地区の指定までまだ至っていない状況でございます。青葉通につきましては地元の方では景観の取組みということで平成24年にまちづくり協議会が設立され、景観も含めたまちづくりの取組みをされてるところでございます。我々といたしましても、その中で景観地区を含めたルール作り、ガイドラインになるのか、あるいは景観地区になるのかそれも含めました取組みを現在も引き続き行っているところでございます。今、増田委員からがございましたように、青葉通につきましては地下鉄東西線の整備も当然並行して進んでおりまして、道路の方の車線の変更に伴いまして歩行者空間だったり、自転車空間、区分上といいますかそういうのをやっているところでございますし、それから緑の方も当然東西線の方の整備の方が目途がついてくれば緑の方の再整備と言いますかねそちらの方も当然進んでくるものですから合わせて街並みとしての景観のルール作りみたいなものを我々も必要と考えているところでございます。</p>
武山部会長	<p>よろしいですか。</p>
増田専門委員	<p>黒っぽい舗装材に変わりつつあって、所々黄色と四角のがあってなんとなく冬滑りそうだなと思ったりして、刻みが入ってるんですけど、多分脇坂さんの方ご存知かもしれませんが、何かのルールに従ってやっているんだと思うんですけど、歩道が拡張されるのはプラス、今回の歩行者系と連動してぜひやっていただきたいと思う、反面なんとなく車道が狭くなってバス路線がやや厳しく入っているなというそんな感じもしたりしてるんですけど、それは交通計画の方でやられていると思いますので、ぜひそちらとも進行する中で連動していただければと思います。</p>
脇坂専門委員	<p>これは確かお城に向かって行くような感じのイメージで黒で少し入れて、渋い登城路っぽくやろうとしているような意図だと思います。</p>
村上次長	<p>3月まで道路部長をしておりまして、私の方からお話を。私も細かくはわからないんですが、青葉通につきましては、仙台駅から仙台城に向かって行く登城路といいますかまっすぐの道路なわけですけども、今脇坂委員の方からお話がありましたように、駅前地区と東二番丁、一番町あたりと、そして国分町、西公園とそれぞれ沿道の土地利用も違ってありますし、通りとしての受ける印象もだいぶ違う。そういうところで、青葉山に近づいていくにしたがって、より城下町という和風のイメージを色濃くだそうということで、それでいわゆる黒と白とかそういうような色の使い方、そしてどちらかというと一番町あたりは、商人の街ということでまさにそこで人がいるという部分のところで黄色、先ほど増田委員からも、お話がありましたようにそういうような色合いを入れ</p>

	<p>ていたとごさいます。設計につきましては、建設局の内部ではそれなりの議論はしておりますが、道路のペーブメントの仕様、色彩、材質、その部分を全てパブリックコメント等をかけてやっていくというような状況ではございませんし、道路につきましては定禅寺通は前にも整備させていただきましたけども、長くもてばもちろんそれに越したことがないんですが、時代の背景とともに、ペーブメントも作り直すもんだというふうに思ってます。一番大事なのは歩道と車道の道路構成、今回そういう部分で青葉通につきましては車よりも人よりも一番大事なのは実はけやきということで、けやきを意識して、それでけやきの根元の植樹樹のところに十分な地下水涵養ができるようなそういう装置ということで車道部分には全然根が生えませんでしたね、歩道部分のところでそういうような部分のところを入れながら、あとは地下鉄東西線が開業されますので、どうぞなるべく公共交通機関を使って街の中に訪れていただいて、そして街をそぞろ歩いてもらおうとそういう部分もございまして、意識して車道を若干いじめたという経緯もございませぬ。私の方からそんなところのご説明でございませぬ。</p>
武山部会長	<p>景観審議会の方の問題かと思ひますけれども、いわゆる景観計画等に係るような大規模な開発行為について、やはり景観審議会の方に意見を求めるとかそういう体制みたいなものが、必要じゃないか。要するに景観審議会の方で、民間事業者の方が塔屋の看板どうするこうするみたいなのが審議会に上がるということであれば、それを景観で見たときはどうなんですかということ、仙台市として総合的に判断していく、常にそういう事を確認していくような体制というのがやっぱり必要ではないかと、そういった事を増田委員はご指摘されたのではないかと思ひます。それと21ページのエリアのところ、私が思ひしたのは、国際センター駅の方はかなり大きな網掛けがされているのですが、仙台駅がなんか小さくてほとんどJR駅なので、ペDESTリアンデッキあたりぐらい整備するっていうのが、認識になってしまうんですけども、これももっとこれ大きく、国際センター駅の円ぐらいの整備が駅周辺でいるんじゃないですか。</p>
村上次長	<p>仙台駅のペDESTリアンデッキは、西口のペDESTリアンデッキ上の部分とあと、東口の方もございませぬので、その部分は考へているわけなんですけども、実際に我々元々は地下鉄東西線開業に合わせて整備しようと思へていた中で、国連防災世界会議が入って、国連防災会議までに少し先立ちでやりましようということなんです。先ほど都市景観課長からも説明させていただきますけども、既存のサインに張替するのはいいんです</p>

	<p>が、通り地図とか新しいものを作っていくということになっていきますと、スケジュールの方でもお示しさせていただきましたけれど、今から製作して3月前に設置をしなくちゃなんないと考えますと、数多くやっていければとは思っているんですが、実際の時間的な部分が、物理的にどれだけのものを整備できるかというのがございまして、今、国連防災世界会議向けにつきましては、仙台駅が小さいというご指摘がございませうけれども、これで終わりということではなくて、地下鉄東西線開業及び、東口西口の駅前広場、大改造ということでJRさんのご協力のもとに、今まさに新たな交通結節点の大改造といったそういった部分をさせていただいておりますので、そういった部分を見据えて最終的にはということで今の所、駅は小さいですが、そう言ったところです。</p>
武山部会長	<p>内容がバナーとかそういったのも入ってましたので、街中にそういうバナーがついてるとするのは国際会議に来られた方にとっては非常に良いのではないかと思ったのですから、予算や労苦と併せてご検討いただいたらと思います。</p>
増田専門委員	<p>今のところで半分当事者なんですけど、1番端っこのところ東北大学のキャンパスまわりのところ、円がかなりたくさんかかっている、今回の国連防災会議で萩ホール等も利用するということだと思いますけど、大学は大学であんまり関係なくキャンパスの整備計画でいろんなサインを作り始めているので、もし何かあるのであれば、ぜひキャンパス整備室あたりに早めに情報を出していただいて、統一するべきものは統一できる場所があった方がわかりやすいんじゃないかと。さっきの民間連携の一番最初の事例にでも。</p>
武山部会長	<p>大学はかなり関わる機会が多いかもしれませんね。</p>
増田専門委員	<p>僕、よくわかってないんですけども、萩ホールの中の一般のキャンパスまで場合によっては防災会議の会議場になったりするんですか。最初の頃はキャンパス整備のなかで新しく作る建物は利用するかもしれないという話を聞いたりもしたのですが、整備が若干今回遅れぎみになって使えそうもないのですけれど、たくさんの個室は大学ですので、会合等に使うとすれば国際センターで足りない部分はあるのか、防災会議の方の利用の仕方がまだこれからだというふうに聞いているので。</p>
都市景観課長	<p>萩ホールについては当然今回の防災会議で使わせていただくということで、こちらの担当課の方から聞いておりますけども、他の施設についてはまだ確認といたしますか、我々もわからない状況で場合によっては検討中なのかもしれませんが、それも含めて早めにもどういう形でできるか、当然それに伴いまして、先ほどのサインとかも関連して出てく</p>

	<p>と思いますので、それも注意して調整していきたいと思います。</p>
武山部会長	<p>では、先に進めたいと思いますが、21ページのエリアについてはそのようなことで、22ページが先ほど出ましたブルーの色が出てくるといってこれで全体計画と言いますかね、少し明確にさせていただきたいと思います。使い分けの基準を作っておかないとご担当の方も困りますよね、どちらの色をこれ使うのということに。</p>
都市景観課長	<p>先ほどもご説明しましたようにこちらの茄子紺色と言いますか、この色については仙台城跡周辺の観光サインということで、この色に設定しております、実は左側にある赤とか黄色とかの丸ポッチなんですけど、これは確か伊達家の陣羽織の模様というか色をイメージ化したというかデザイン化したものでして、そういう意味では伊達家といいますかね、そういうものを想定したもののデザインですので、仙台城跡周辺の観光サインでこの形をできれば使っていきたいという事で、今デザイン帳の方にあげてる状況でございます。</p>
武山部会長	<p>エリアとこのサイン色を使うことの定義づけをしっかりとやっていただきたいと思います。めくりますと、23ページはフラッグ関係ですね。これも色を通りによって使い分けるのか、あるいは繰り返し色んな色を全域で使うのかとか、そういった事も今後検討の範疇になるかなと思います。24ページにつきましては先ほど言語が当事者がちゃんと読めるように対応していただく必要があるのではないかとのご指摘がありました。このおもてなしの女性の姿がもうちょっと小さくて注文とかこっちの方が大きく見えてもいいかもしれませんけどね。京都の観光案内所なんかでもそういう感じで文字の方が大きいんですね。というか文字だけですけど、それで十分わかるので。先ほどこれは提供していただけるのかというご質問ありました、その辺いかがでしょうか。</p>
都市景観課長	<p>こちらは、仙台市でシールといいますか、ワッペンといいますかこちらも作成して、ご協力いただけたら使っていただくというか、お渡しして貼っていただくという事で考えておりました。</p>
事務局	<p>補足ですが、この絵の右端2枚ありますけども、この片手をあげている絵の下にそのお店でできるものの方に掲載するというような形でシールを作ってそれを店頭貼るといったような事を想定しております。</p>
阿部専門委員	<p>多分店頭表示のイメージだとは思いますが、ここにあるものを見る限りではかなりハードル高いような気がするのです。これを提供するとなった時に一個だけ貼るとかスカスカになってしまうような可能性もあるので、一度商店街の方とかいろんな方と連携してアンケートじゃないですけど、どこまでやれるのかということをごきちんとやらないとせ</p>

	<p>っかく良いものができるんですけど、やってみただけどほとんど貼れなかったとかですね、スカスカになってしまうという可能性があるぐらいの、私もインバウンドの方やってますけど、これがやれる、受け入れのところが仙台にこれだけあるのかという疑問がありますので、その辺もきちっとリサーチした方がいいと感じます。</p>
都市景観課長	<p>実はこちらの連携した取組みについては直接我々のほうですとサイン担当部局でやっているものとこちらの連携した取組みというのは経済局の方でやっておりますので、今色々ご助言いただいた内容について経済局の方にお伝えして、色々リサーチなり調整できるようにしていきたいと思えます。</p>
増田専門委員	<p>このWi-Fiのマークで日本はあんまりないですけど、各社キャリアさんがいろんなホットスポットがあったり契約してる人は無料で使えるけど、そうじゃない人は使えないとかいうのがいろんな事があって結構大変だと思うんですが、例えばこの国連防災会議の期間だけ短期的にホットスポットを解放するとかそのような試みは別途あるんですかね。</p>
都市景観課長	<p>経済局で今地元の商店街と調整をしております、キャリアさんが入っているものとか、あるいはまったくのフリーでメーカーさんが入ってやっているものとか、検討中のものがアーケードの商店街で2つほど実際動いているのがあります。それ以外に検討中というところも聞いてございますので、当然国連防災世界会議を見据えて検討しております、会議に来られた方に駅でカード的なものをお渡しをして、そのパスワードを入れるとフリーになるとか、そういった事を今検討していると聞いております。</p>
武山部会長	<p>ありがとうございます。24ページよろしいですか。先行きまして、今後のスケジュールということで、国連防災世界会議に向けたサイン整備、8月に基本方針決定ということで、それを踏まえて、年後半から具体的な整備にかかるというイメージですね。それから東西線整備を見据えて今後必要になるサイン整備ということで別途進むという流れになっております。以上全般通しまして、また何かございましたらお願いします。よろしいようでしたら、次に参考資料の方の歩行者系案内誘導サイン等基本方針素案をご覧ください。こちら具体的な内容が入ってまいります、めくっていただきますと、まず目次がございます。1部2部となっておりますが、先ほども出ました歩行者サイン等の基本方針というものと見本帳というものを大きく2つのブロックに分けて考えましょうということです。以下具体的になりますが、ここで目次のところで全体</p>

	<p>構成を確認しておきたいと思いますが、1部の方でAから序章、Bサイン設置方法、C景観調和、D外国語、E障害者への対応、F維持管理とありまして、Gから歩行者系誘導サインの配置基本計画そして表示基準というものが出ております。一般的にわりとサインシステムの考え方とかそのあたりが、もう少し頭の方にくる事例が多いんですけど、この辺少し皆様のご意見を伺っておきたいと思いますが、全体構成いかがでしょうか、こういう目次立になっておりますが。</p> <p>Cで景観の調和とかD外国語E障害者等と出てくるんですが、最初のサインの役割のところ、わりと具体的な案内誘導サインとしての役割が述べられているんですが、今回のサイン計画の特徴としては、都市戦略と言いますかイメージ作りといいますか、そういう位置づけが、まずあるのではないかと思います。そういう中で当然都市の印象を作る景観を整備する上でのサイン、そして来街者に快適性を提供するためのサイン、あるいは観光振興みたいな都市の振興に寄与するようなサインというようなサインの位置づけがあって、今回トータル総合的なサインというものを目指している。その総合というのは先ほど図にありましたように庁外であり民間事業者との連携をするような総合的な事でやりますよという事が1つと、具体的にサインシステムですね、都市のサインとしてのシステムを作るんですよと、それがあから実は外国語についてもこうですよとか、そういうことになってくるのではないかと思います。その主要な役割目的のところ、そのあたりのこと、今回あえて防災会議がらみの国際対応みたいな項目をあげられてもいいように思います。そういう目的に対応して、景観との調和、外国語の使い方、障害者の対応というような項目が付随して出てくるのではないかなと思います。ですから、私の意見としてはA1のサインの役割のところ、もう少し総合的な観点での今回サインの役割がありますということも明言していただくことと、Gになってますけど、サインシステムの考え方これはそこに関連づけて一緒に述べていただいてもいいのかなというように思います。あとはだいたいこの形で、行けると思いますが、いかがでしょうか。</p>
協坂専門委員	<p>この構成ですけども、先ほど武山部会長がおっしゃられた通りのところで、最初の序章のところになぜこれをやるのかということが2つある。防災会議や東西線の開業があって人が来るからということと、25年度に行った現況調査の結果、課題があるからという、そういう2つが頭にあって全部ブレイクダウンしてるという、そういう構図になってるんです。それだと風格がないので、やはり景観計画とか、市の総合計画</p>

	<p>とか、上位計画みたいな、こういう街づくりというのがあって、その実現のためにサインも役割を果たすから、こうだというのを序章のところかなんかでポンと1個書いておいたほうが全体が締まるような感じがします。多分、杜の都としての風格ある街づくりみたいなものが、仙台市として目指すべき方向にあって、その為にサインも情報案内だけではなく、そういった重要な役割を果たすんだと、だから景観との調和でもこうなんだ、色もこうなんだとか、そういうのが1個最初にあるとすごく締まります。特にこれ景観審議会の人も委員会なので、なんとも景観計画の大事などこのフレーズを上手く拾いながら、多分これ平成12年に作った後に景観計画ができて、その後これ改訂してるという流れになってるので、そこは入れてもらった方がいいのかなと思います。</p>
武山部会長	<p>引き金は防災会議であつたり色々するわけですけど、それがあろうとなかろうと仙台市としてはこういう方針でやるんだ、という基本方針がまずあつた方がいいだろう、ということかと思ひます。全体方針につきましてもいかがでしょうか、よろしいですか。具体的にページをめくっていきまして、もしお気づきの点がございましたら、ご意見を伺いたいと思ひます。A1サインの役割、A2歩行者誘導サイン等の課題と対応となっています。A3が基本方針の位置づけ。Bの1で、かなり具体的な内容になるので、ここでもう少し全体の枠組み、案内誘導のシステムであつたりあるいは色の考え方であつたりとかそういう根本的な事をここで述べていただいたほうが良いと思ひます。細かいことなんですけど、解説文のところは、行間をもう少し開けていただくほうが読みやすいと思ひます。Eは英語の表記基準と出ております。先ほどの町名すべてローマ字、住居表示、駅名、バス、通り名、アベニューと出てますね。レイアウトと障害者への対応ですね。</p>
増田専門委員	<p>Dの2の住居表示ですが、仙台市の表記が SENDAI CITY はいいんですけど、上の住居表示は CITY ない方が普通じゃないかと思ひます。AOBAKU SENDAI 9808 なんとかなんとかという英語表記の方が普通じゃないですか。SENDAI CITY と書いているのはあまり見ません。他のところで使っているの確認していただければ。</p>
武山部会長	<p>はい、ありがとうございます。障害者への対応、維持管理ですね。</p>
石井専門委員	<p>会長も、もしかすると言つてましたけども、障害者への対応のカラーのページがありますが、そもそもの基本カラーのグリーンですね、これを使うという表明が必要ではないか。コピーの関係もありますけど、同じグリーンでもくすんで見えたりしてますので。このグリーンについて結構商店街の中でも今回どんな色というのが出るんですよ。サインのボ</p>

	<p>ードの方の基本カラーはこれですと、さっきおっしゃったように観光はこれですっていうのをどこかでつけられた方がいいという気がしています。</p>
脇坂専門委員	<p>並びでいうと景観との調和というのが、あんまり意味がないというか。前のものに景観との調和というのがあったんで、それをそのまま踏襲してると思うんですけども、この景観との調和は抜いてもあってもなくても同じような構造になってると思うので、ここにむしろ景観との調和というタイトルがいいのかどうかもあるんですが、基本的なサインの色とか形の考え方というので逆にしっかり書いた方がいいんじゃないかなって思います。そこに書いたことがあとにつながってくると思います。</p>
武山部会長	<p>それから色につきましては、役所的にはマンセル値といいますか、普遍的な表記方法で書かざるをえない部分もあるかと思いますが、おまけマニュアルじゃないですけど、印刷の場合はこう、WEBはこう、そしてシートとかディスプレイ材料はこうとか、そういう具体的に皆さんがお使いになる時の番号みたいなものをぜひご準備していただくと使いやすいと思います。障害者、維持管理、G1があってサインシステムの考え方が出てきますから、これももう少し前の方にいったらどうでしょうか。情報拠点モデル、情報拠点と情報提供、情報拠点モデル、回遊ルート、仙台市中心部における情報拠点の配置計画、先ほど出てきたものです。次にH1地図の種類。地域地図、アーケード商店街なんて表記もあります。現在地が漢字と YOU'RE HERE みたいな形で描かれてますが、人型とかユニバーサルなもう少し一目で現在地とわかるような、ポインターがボーンと飛び出るとか、もう少し明快にした方が、どうですかね。</p>
並木専門委員	<p>細かいんですけど、H1の地図に地下鉄の入口が黄色になっているんですけど、黄色い四角の中に地下鉄のマークと0とある。一般的に地図の地下鉄の入口としてあまりなじみがないんですが、黄色にする必要とかあるんですかね。</p>
増田専門委員	<p>目立たないですよ。</p>
並木専門委員	<p>いまひとつなじみがないかなと。</p>
都市景観課長	<p>今表示しておりますのは、例えばH1の地下鉄仙台駅の両端に黄色になっている表示だと思うのですが、これは地下鉄の出入口表示が黄色であるものですから、黄色で表示させていただいているんですが、確かにこれだと目立たないというか表示する意味がないかなという感じがします。これは色も含めて検討させていただければと思います。</p>

並木専門委員	入口かどうか、何かここにあるのかなと思ったり。
増田専門委員	あおば通駅の仙台のSSマークが入っている入口の標記が現在ありますね。
都市景観課長	そうですね、ありますね。
増田専門委員	全部書き出すと、勾当台公園の周りもいろんな所に入口があったりして、なかなか難しいですね。
都市景観課長	仙台駅以外は比較的出入口の数は少ないですけど、仙台駅の場合は確かにこれ以外にもだぶ出入口の箇所がありますので、設置も含めて検討させていただければと思います。
武山部会長	先ほども話題になりました、街路樹ですけど、線状に行くよりもまるで木がワーとつながっている方が、直観的に街路樹ってわかりませんか。これだとなんか別のラインかなにかと。アーケードがちょっと円弧上になったりしてるんですが、割とイメージが伝わり、なるほどと思ういます。
都市景観課長	確かにそうですね。街路樹のところは線二本とか三本入っているものですのでこれは街路樹とはイメージができないと思います。これも表示は検討させていただければと思います。現況をリアルには表現できないかもしれませんが木の雰囲気を。
武山部会長	丸だけでもつながっていれば街路樹っぽく見えますから。
増田専門委員	すいません、もう1点。H1の地図、仙台駅周辺なんですけど、今回東西線ができて地下の階層がかなり複雑になると、東西を抜ける通路が地下レベルにあったり、駅のコンコース、ペDESTリアンデッキレベルにあたり、少し上下の関係がよくわからない。僕いつも地下で東西に抜けようと思うと、どこに出るのか今ひとつ良くわからない。情報があまりないので、そこらへん少し、上下階の表現どうするかをご検討いただければと思います。
武山部会長	まー、難しいですね。
増田専門委員	ここに載せるのは大変だと
武山部会長	景観のランドマークといいますか、アートがボーンとあるとか壁面がアートになってるとか噴水があるとか、そういうのがあるとあっち行ったら噴水ある方で、こっち行ったら赤いアートがあるとこみたいな、環境の情動的なものも必要になってくるかもしれません。
並木専門委員	すごい細かくて申し訳ないんですけど、仙台駅の東口のところにZEEP SENDAI がまだ載っていて、これは結構古い地図を基にプロットしているのではないかと思うのです。なので、もう少し新しい情報を入れて下さい。ヨドバシもここにはないですし。

相澤専門委員	<p>来年の国際会議までに整備をされるという時は、東西線は開業してないので、この地図は国際会議時点で作って、東西線開業でもう一回作り直すっていう、東西線情報が入ってないと意味がないですね。東西線開業したときが、ほぼ仙台の骨格交通体系の出来上がりなので、その地図はしばらく使えると思うのですが、国際会議までに一回整備して、できる場所は整備してという地図が3月から12月までの期間の地図という整備になるのですね。</p>
都市景観課長	<p>まずは来年3月の国連防災世界会議に向けての整備が一つと東西線の開業に合わせてという基本的に2段階にならざるをえないことと、最終的にはその先の駅広の整備とかも当然まだ終わっていないところもありますので、その整備も含めて最終3段階で整備しなくてははいけません。来年の国連防災世界会議に向けては当然東西線の開業を見据えたものはある程度作りながら、例えば東西線については国連防災世界会議の段階では表示はしておいて整備中ということで表示をするなり、その辺工夫をさせていただいて、まるっきり作り直しではない形でいきたいと考えていました。それと先ほどの地図ですが、今表示されてる地図が確かにかなり古い、前の地図をベースにして今回表示しておりましたので、当然地図の作り直しにあたりましては新しい地図に変えていく予定でおりましたので、これこのまま正式な今回の張り替える地図ということではございません。</p>
並木専門委員	<p>どれでパブリックコメントとるのかわからないんですけど、いろんなところに公になっていくにおて、そういう指摘は多分結構あると思います。</p>
都市景観課長	<p>その辺も配慮してパブリックコメントに向けて行きたいと思います。</p>
武山部会長	<p>ある意味地元の方、商店街であったり今後連携しようとしているところにもう投げて一緒に確認していただくと、はるかに詳しくチェックしていただける可能性もあります。地図は具体的にやりますとどんどんディテールに入っていきますので、このあたりにおきまして東西線の扱いについては場合によってはステッカー等で対応するとか、しばらく表示されているというのは、いい宣伝にもなるかと思えますので、これはいついつ開業というような形で注釈付で対応は可能ではないかなと思います。時間がだんだん迫ってきましたので、残りご覧いただけたらと思いますが、地図から表示基準そして情報の掲載基準これも非常に重要なポイントです。右手に多言語表記の場合の2か国語、4か国語等との対応についても書かれているということで、このあたりをしっかりと詰めておいていただくとあと管理が楽かと思えます。書体はユニバーサ</p>

	<p>ル対応のものを使うとピクトグラム、ここに先ほどの地下鉄駅出入口も出てきてますが、これは難しいかもしれませんね。具体的に原寸でどれくらいになるかちょっと落とし込んでいただいて確認をお願いできたらと思います。施設アイコンこれ先ほどもご覧いただいたところかと思えます。色彩の基準、表記エレメントの組み方というのも出てきますね。そして誘導対象施設。</p>
脇坂専門委員	<p>すいません、誘導対象施設が恐ろしく公共施設に偏ってる感じもしますので、それも1つの考え方だと思いますけど、現実的には仙台市民はフォーラス前とかいう世界ですね。その辺難しいところだと思うのです。先ほどランドマークの時に、基準を決めてそれでパシッとやってしまうと広域地図では公共施設ばかりの地図になってしまって、実際のウェスティンだとか藤崎だとか重要なランドマークが抜けちゃってするきらいもあるので、そこ非常にルールと現実の兼ね合いが難しいところかと思うんですけどもホントに市民的にリアルに使うところがきちっと入るように例外規定みたいなものを設けて、やった方がいいのではないかなと思います。</p>
武山部会長	<p>具体的にはできなかつたんですが、以前そういう問題に対応する時に市民に少しアンケートでもしますかというような、どこをランドマークにして案内されますかっていうような公的なアンケートを実施されて、その上位にあがったものを掲載するとか。やっぱり理由がないと、ただ単に民間で入れるというのはなかなか難しいところがありますから。少しひと工夫していただいて。レイアウト基準のところから具体的にデザイナーがでてくるという形ですね。表記説明のレイアウトとありますが、この辺は観光協会の方あたりで情報提供してもらうことになりませんか。</p>
都市景観課長	<p>実際にこちらの方は担当としては経済局ですので、そちらと連携しながら作成していくという形を考えております。</p>
武山部会長	<p>パンフレットで見る情報量と街頭で見る情報量っていうのは少し違うということだけは認識していただいて、どこかでこの前200字くらいにしました。400字も書くと長くて、実際翻訳も入れるとスペース的にも厳しいと、小さい文字になるので、できるだけホントに単純にご説明をいただいといた方がいいかなと。</p>
脇坂専門委員	<p>ここで言うところじゃないかもしれませんが、東二番丁通りの国道走っていると青柳文庫とか、日本最古のなんとかとか言うのがあるんですけど、実は何処に行ったら何があるのかわからない。これ多分国道側が趣味でつけてるのかもしれないんで、何とも言えないんですけど、意外と</p>

	<p>そうだとみんな思いつつ、どこに何があるかわからないというのがあったりするので、他のサインとの兼ね合いで、もう少し魅力のランドマーク、ランドマークの箱ものだけでなく場所とかスポットとかそういったものもうまく発掘できて、きちっと入れ込めればそれはそれで仙台の魅力になるのかとも思いますので、例えば誰々生誕の地とか、そういうのもむしろ多めに拾い上げてスペースはあるような感じがしますので、やった方が今後東西線の駅ができていく上では。</p>
武山部会長	<p>ここまで細かくはあれですけど、こういうのがあったり景観審議会の方でもワークショップされた資料が上がってきてたかと思いますが、ああいったものの中で、これはぜひ歩行者の方にお伝えしたいというものをノミネートしていただいたらどうかと思います。</p> <p>先行きまして、あとは今後の課題、これはここにまた入ってくるんですかね、歩行者の為のデザイン例、見本帳ってこれは入ってくるんですね。そして誘導サイン、矢羽根の案内、通り名の案内、たくさんありますね。駅前広場サイン、細かな自動車系の制御サイン、東西線周辺サイン、アーケード商店街サイン、ペDESTリアンデッキ上のサイン。</p>
増田専門委員	<p>Iの7のあたりに荒井駅の駅前広場サインって書いてあって実際載っかってるのは仙台駅の周辺ですので、もし作れるものであれば荒井駅の方がいいのかもしれませんが、作れないのであれば荒井じゃなくて仙台駅周辺というふうに書いておいた方が混乱がなくいいと思います。</p>
武山部会長	<p>やはり拠点駅というか代表的な事例を具体的にお考えいただくのが一番いいです。そうするとこういうケースにはあてはまらないというのは必ず出てくるんですね。ですから、代表的な小規模な駅、郊外型の拠点駅とか、ちょっとタイプの違うところでシュミレーションされると非常にいいかなと思います。1-7から1-8、1-9あたりどうですか、大丈夫ですか。</p>
石井専門委員	<p>1-9に、アーケード商店街サインのデザインのポイントでアーケード商店街にふさわしい軽快で装飾的なイメージを付加しているとあるんですが、これはこの例えば周辺案内のサインのこの躯体そのものの脇のデザインという意味ですか、どこのところが装飾的なイメージを付加しているかっていうのが分かりづらい。</p>
都市景観課長	<p>そうですね、下に絵がありますが、特に比較的低めのもので躯体と言いますか、サインの両脇にあります支える部分ですか、この辺を少しデザインを加えて他と違うような形で設定しております。</p>
石井専門委員	<p>そういう意味合いですね。</p>
武山部会長	<p>この支柱というかベースと支柱とありますけどこういった素材につ</p>

	<p>いては少しグレードを考えると、そう言ったことが必要になってくるかもしれませんね。</p>
相澤専門委員	<p>すごく細かいんですけど、例ですのでちゃんとやって欲しいなと思っただけなんですけど、JR仙台駅が200mで、地下鉄仙台駅が50mの地点で市役所500mと勾当台公園400mでは届かないと思うので、仙台市そんなに小さくない、例ですのでここはちゃんとしたポイントで書かれた方がいいかと思います。</p>
武山部会長	<p>地元の方がご覧になると一発でわかるという。めぐりましてペデストリアンデッキの方ですね。学校避難場所誘導サイン、マナーサイン、B案あたりは大丈夫かな、ちょっと怖いねこのデザイン、特に1000mm前後ぐらいまでは子どもが、バーンと走ってきて当たるようなことがあるので、角のRは必ず取るようにお願いしたいと思います。</p>
都市景観課長	<p>植込みの中に設置をイメージしているもので、道路上にあるものについてはしっかりと対応していきたいと思います。</p>
武山部会長	<p>植え込みとかでしたらいいんですけど。イベント演出サイン、これは今後、色々調整をいただいたうえでとなると思いますが。これ前も発言しましたが、ベースで仙台市として何にもないときに、標準型のいいデザインのものを用意しておくといいかなと思います。それから防災系サインということですね。一番後ろのページに先ほど話題になりましたおもてなしサインが出ております。全般通して何か言い忘れていること追加のご指摘等ございませんか。</p> <p>今後27日に、景観審議会の方に今日の内容も踏まえた訂正版がいくとみて良いですかね。景観審議会でご承認いただくと、そののちにパブリックコメントを求めているという流れになっているということです。他、特になければ本日の審議をこれで終了したいと思います。どうもありがとうございました。</p>
5. 閉会	
事務局	<p>最後に次長の村上より一言申し上げます。</p>
村上次長	<p>今回のこちらの資料につきましては、少し練れていないと言いますか、そういう駆け足のなかでやらせていただいて、こういった資料をお出ししながらということでの専門委員の皆様へ失礼を申し上げるところでございます。今日お話しを色々させていただきましたけども、現在設置されている歩行者系のサインはそれぞれ担当部局において、平成12年のガイドラインに基づき良かれと思って整備をしてきたわけでございます。現実問題としまして、今回この専門部会、色々ご検討いただくにあたりまして、我々現状の認識というところでやはり問題が多い</p>

	<p>と考えております。我々としましては今日お話をさせていただいた中で都市景観課が総括として調整役をきっちり担っていくと、その中でまずは足元と言いますか、行政内部の方もしっかりもちろんやって参りますし、不特定多数の方がご利用なされる民間施設、公共交通機関であるJRさんはじめバス事業者さん、また先ほどもお話ありましたけども、ホテル、商店街そういった方々の十分ご理解とご賛同いただけるように、PR等もしっかり努めていくとともに、その中で来年の国連防災世界会議に向けた準備をきちっとさせていただくことも、大事でございます。特に先ほどお話があった中でサイン、単なる方向性を示すだけのものではなくて仙台の戦略、都市戦略としての都市景観、その中で非常に大事な部分を占めるとそういった切り口をきっちり大事にしながら、我々としまして今後ともこの基本方針の部分について時代の要請等に応えながらしっかり対応できるようにしていきたいと思っております。先ほど部会長からもお話がありましたように、自らがチェックし、また外からのチェックを受けるそういうような体制も組み入れながら、今後ともサインそして都市景観行政をしっかりと進めてまいりたいと思っております。本当に専門部会でのご議論大変ありがとうございました。</p>
事務局	<p>それでは以上をもちまして、平成26年度仙台市景観総合審議会専門部会を閉会いたします。どうもありがとうございました。</p>